

■7世紀の東アジア

○地政学の視点

地政学（geopolitics）＝地理・地理学＋政治・政治学

地政学：地理的な環境が国家に与える政治的・経済的・社会的・宗教的な影響などをマクロな視点に基づいて研究する学問の総称。20世紀初めに欧米で成立。

○日本の地政学的位置

a) 大陸－b) 半島－c) 島嶼

a) 支那－b) 朝鮮－c) 日本

- ・日本の地政学的位置の特徴 ①島国である…周囲を囲む海が侵略を防ぐ
①大陸に近い…遠すぎもせず、近すぎもしない
③半島が突き出している…文化の伝達通路&脅威の道

○大陸に強大な帝国が出現

- ・隋…598年、300年（400年）ぶりの支那大陸の統一→618滅亡（高句麗討伐の失敗）
- ・唐…さらに強大な帝国の出現→7世紀半ばから高句麗に侵攻
→朝鮮半島・日本に権力集中化の流れが生じる
- ・冊封体制…封建（国内）→冊封（国外） 冊封国（半島3国）／不臣の朝貢国（日本）

○唐の朝鮮半島支配の戦略

- ・高句麗に手こずる
- ・次の3段階で半島を支配下に
①新羅と結び百済を滅ぼす
②強大化した新羅と結び高句麗を滅ぼす
③新羅を滅ぼす

○朝鮮半島3国の権力集中の方式

高句麗…宰相（泉蓋蘇文）が国王と重臣100人を殺害、権力を集中

新羅…王位につく資格のある王族（金春秋、のちの武烈王）が権力を持たない女帝をつけ貴族の評議で権力を行使

百済…国王（義慈王）が王子（余豊璋）・重臣を追放、王権を強化

■蘇我氏の勢力の強大化

【大化の改新までの年表】

* 下線は女帝

33 推古	26	618	◇隋が滅び、唐がおこる
	28	620	聖徳太子・蘇我馬子「天皇記」「国記」を編纂
	30	622	聖徳太子崩御
	34	626	蘇我馬子没
	36	628	推古天皇崩御
34 舒明	1	629	田村皇子即位（舒明天皇）
	2	630	第1回遣唐使派遣
	12	640	<u>南淵請安、高向玄理ら、唐から帰国</u>
	13	641	舒明天皇崩御 ◇百済の義慈王が即位、王子（豊璋）や重臣を追放
35 皇極	1	642	宝皇女が即位（皇極天皇） 蘇我蝦夷、大臣に再任、蝦夷の子・入鹿、国政を執ると宣言 ◇高句麗で宰相が国王・重臣100人を殺害
	2	643	蝦夷、入鹿に紫冠を私的に与え大臣位に擬する <u>入鹿、山背大兄王を襲撃し一族を滅亡させる</u>
	3	644	正月の蹴鞠の会で中大兄皇子と中臣鎌足が会う 蝦夷・入鹿、甘樫岡の邸宅を要塞化、「陵」「宮門」「王子」等使用
36 孝徳	大	645	<u>蘇我入鹿暗殺され、翌日蝦夷自尽、蘇我本宗家滅亡（乙巳の変）</u> ◆元号「大化」
	1		皇極天皇譲位、軽皇子即位（孝徳天皇）
	2	646	改新の詔を發布

■大化の改新

○大化の改新を実現させた4つの条件

- 1) 唐の圧迫に対する国家体制の強化の必要・・・国際環境
- 2) 唐からの帰国者の知識・情報・・・新知識・新情報
- 3) 皇統を脅かす豪族（蘇我氏）の横暴・・・皇統の危機
- 4) 中大兄皇子と中臣鎌足の出会い・・・主体的条件の形成

*瀧浪貞子『持統天皇』(中公新書)より



入鹿の変

十二日、天皇は大極殿にお出ましになった。古人大兄がそばに侍した。中臣鎌子連は、蘇我入鹿臣の人となり疑い深く、昼夜剣を帯びていることを知っていたので、俳優（滑稽）な仕ぐさで歌舞などする人々に教えてだまし剣を解かせた。入鹿は笑って剣を解き、中にはいつて座についた。倉山田麻呂臣は御座の前に進んで、三韓の上表文を読み上げた（多分に作為の加わった文であろうと推察されている）。中大兄は衛門府に命じて、一斉に十二の通門をさし固め通らせないようにした。衛門府の兵を一カ所に召集し、禄物を授けようとした。そして中大兄は自ら長槍を取って大極殿の脇に隠れた。中臣鎌子連らは弓矢を持って護衛した。海大養連勝麻呂に命じ、箱の中から二本の剣を、佐伯連子麻呂と葛城稚犬養連網田に授けさせ、「ぬからず、素早く斬れ」といった。子麻呂らは水をかけて飯を流しこんだ。だが恐怖のためのどを通らずもどしてしまった。中臣連鎌子はこれを責め励ました。倉山田麻呂が上表文を読み終わろうとするが、子麻呂らが出て来ないのが恐しく、全身に汗がふき出して、声も乱れ手も震えた。鞍作臣（入鹿）は怪しんで、「何故震えているのか」ととがめた。山田麻呂は、「天皇におそば近いので恐れ多くて汗が流れて」といった。中大兄は子麻呂らが入鹿の威勢に恐れたじろいで見ているのを見て、「ヤア」と掛声もろとも子麻呂らとともに、おどろだし、剣で入鹿の頭から肩にかけて斬りつけた。入鹿は驚いて座を立とうとした。子麻呂が剣をふるって片方の脚に斬りつけた。入鹿は御座の下に転落し、頭をふって、「日嗣の位においでになるのは天子である。私にいったい何の罪があるのか、そのわけを言え」といった。天皇は大いに驚き中大兄に、「これはいったい何事が起こったのか」といわれた。中大兄は平伏して奏上し、「鞍作（入鹿）は王子たちをすべて滅ぼして、帝位を傾けようとしています。鞍作をもつて天子に代えられましょうか」といった。天皇は立つて殿舎の中に入られた。佐伯連子麻呂・稚犬養連網田は入鹿臣を斬った。この日雨が降って、庭には溢れ流れる水が一杯になった。薨薨で、鞍作の屍を覆った。古人大兄は私宅に走り入って人々に、「韓人が鞍作臣を殺した。われも心痛む」といい、寝所に入ってとざして出ようとしなかった。中大兄は法興寺に入られ、とりでとして備えられた。諸の皇子、諸王・諸卿大夫・臣・連・伴造・国造などみながお供についた。人を遣わし鞍作の屍を蝦夷大臣に賜わった。漢直らは族党を総集し、甲をつけ武器を持って、蝦夷を助けて軍をしようとした。中大兄は將軍巨勢德陀臣を遣わして、天地開闢以来君臣の区別が始めからあることを説いて、進むべき道を知らしめられた。高向臣国押は漢直に語って、「われらは君大郎（入鹿）の罪によって殺されるだろう。蝦夷大臣も今日明日すぐにでも殺されることは決まっている。ならば誰のために空しく戦って皆が処刑されるのか」といい終って剣をはずし弓を折って捨て去った。他の賊徒もまた見ならつて散り逃げた。

大人が学ぶ <誇りを持てる日本の歴史> 学習会 ワークシート
【8限目】律令国家の建設と日本の国号 p 48 - 49 令和 4.7.3

【7世紀後半の年表】

36	孝徳	649 蘇我倉山田石川麻呂、謀反の疑いを受け自殺 654 孝徳天皇崩御
37	齊明	655 皇極上皇、飛鳥板蓋宮にて即位（齊明天皇）、初の重祚（重祚） 659 阿倍比羅夫蝦夷を討つ 有間皇子、謀反のかどで殺される 660 <u>百済滅亡、遺臣・鬼室福信が援助を要請、豊璋を百済国王として返還</u> 661 齊明天皇、新羅征伐に出帆、筑紫朝倉宮で崩御。皇太子中大兄皇子称制。
38	天智	663 <u>白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗北、百済亡民日本へ向かう</u> 664 冠位二十六階を制定 665 百済の男女 400 余人を近江の国神前郡に住ませる 667 <u>近江大津宮に遷都</u> 668 皇太子中大兄皇子即位（天智天皇） 669 中臣鎌足死去、藤原姓を賜る 670 甲午年籍をつくる 671 大友皇子、太政大臣となる。 大海人皇子、吉野に入る、鸕野讃良皇女同行。天智天皇崩御
39	弘文	大友皇子即位（弘文天皇）
40	天武	672 <u>大海人皇子挙兵、近江軍と開戦、瀬田の決戦で近江軍敗れる（壬申の乱）</u> 大友皇子、自決。大海人皇子、飛鳥浄御原に都を置く 673 大海人皇子、即位（天武天皇） 680 皇后の病気の治癒をねがい薬師寺建立を始める 681 <u>古事記・日本書紀の編纂を命じる</u> 684 八色の姓を制定する
41	持統	686 朱鳥と改元。天武天皇崩御、皇后が称制 大津皇子、謀反をはかり殺される 689 飛鳥浄御原令施行 690 皇后鸕野讃良皇女即位（持統天皇） 694 <u>藤原京遷都</u> 697 皇太子に譲位、文武天皇即位
42	文武	701 遣唐使任命（唐に日本国号を告げる） 大宝律令制定（翌年施行）

■白村江の戦いと国防の備え

○百済の支援要請に中大兄皇子はどう対応したか

660 年、百済は唐と新羅の連合軍に打ち負かされ、首都陥落、王族・貴族は長安に連行されました。百済の遺臣（鬼室福神）は百済復興のため、日本に軍事的支援を求めてきました。あなたが中大兄皇子だったら、どう対応しますか。

ア) 日本には対応出来るだけの国力・軍事力がないとして断る。

イ) どっちつかずの態度をとって返事を引き延ばす。

ウ) 300 年来同盟関係にあった百済を助ける軍事行動を行う。

○斉明天皇の出陣 額田女王の歌

熱田津（にぎたつ）に 船乗りセムと 月待てば 潮もかなひぬ 今は漕ぎ出でな

○教科書を読んで、白村江の戦いの敗戦後、中大兄皇子はどのような国防体制を取ったかを箇条書きにしてみよう。

○万葉集の防人の歌。防人に集められたのは東国の人々でした。どうして東国の人々が防人に徴発されたのでしょうか。

我が妻も 画にかきとらむ 暇（いつま）もが 旅行く我は 見つつ偲ばむ

（自分の妻の姿を画に描いてもって行く、その描く暇がほしいものだ、旅先でその画を見て思い出したいのだ）

防人に 行くは誰（た）が夫（せ）と 問う人を 見るが羨（とも）しさ 物思いもせず

（現代語訳）見送りの人ばかりの中に交じって、防人に行くのはどなたのご主人ですか、などと何の心配も無く問う人を見ると羨ましいのです。 *防人の妻の歌

今日よりは 顧みなくて 大君の 醜の御楯と 出で立つ吾は

（現代語訳）今日からは身を顧みることなく、大君（天皇）の強い御楯となって我は出で立つのである。

蘆垣の 隈戸に立ちて 吾妹子（わぎもこ）が 袖もしほほに 泣きしぞ思はゆ

（現代語訳）出立の間に、蘆の垣根の隅に立って袖もしおしおと濡れるまで泣いた妻のことが思い出されてならない。 *上総市原郡 刑部直千国

○日本における「愛国」の始まりー持統天皇が表彰した大伴部博麻の物語

「天豐財重日足姫（齊明）天皇七年（六六〇）の百濟救援の戦役で、おまえは唐軍に捕虜にされた。その後、天命開別（天智）天皇の（即位）三年（六七〇）に至って、土師連富杼・氷連老・筑紫君薩夜麻・弓削連元宝の子の四人が、唐人の計略を通報しうとしたが、衣食がなく、日本に到達することが危ぶまれた。その時、おまえは土師富杼らに、『私もあなたがたと一緒に本国に帰りたいが、衣食がなく、とても行けない。どうかこの私の身を売って、あなたがたの衣食の費用にしてください』と言い、富杼たちは博麻のはかりごとどおり、日本に帰ることができた。おまえはそれからたった一人で、三十年もの間、他国に留まった。自分（持統）はおまえが朝廷を尊び、国を愛し、おのれの身を売って忠誠を示したことをたいへん嬉しく思います。それゆえ、務大肆（従七位下に相應）の位と、絶五匹・綿一十屯・布三十端・稻一千束・水田四町とおまえに賜うこととします。水田は曾孫の代まで伝えるように。また三族の課役を免じ、その功績を人びとに示そうと思います」

● 日本書紀より

■ 律令国家の建設と日本の国号

○壬申の乱で勝敗を分けたポイントは何だったのか。

○天武・持統朝の律令国家建設に向けた事績を書き出してみよう。

○日本とはどういう意味ですか。「日」と「本」にわけてそれぞれの意味を説明し、最後に「日本」の意味を説明して下さい。

○倭以外に中国が名づけた、よい意味とは思われない国名や民族名にはどんなものがあるか、教科書の中から探してみましょう。

○それぞれ何と発音しますか。

古事記 倭建命
日本書紀 日本武尊

○教科書 p 48 の遣唐使の中に、中国の皇帝に「日本」という国名表記を認めさせに行った遣唐使がいます。何年の遣唐使だと思いますか。

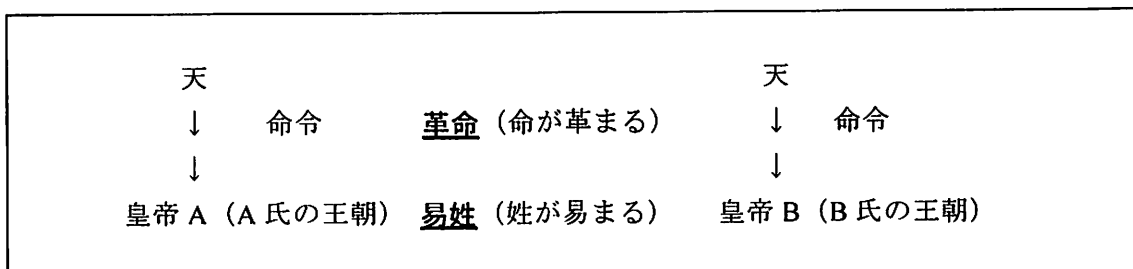
○日本は英語でジャパン Japan です。どうしてジャパンという国名が生まれたのでしょうか。

- ア) 日本と Japan は関係がある。
- イ) 日本と Japan は関係がない。

○中国の宋の皇帝・太宗は、日本の天皇が羨ましいと言ったのですが、なぜですか。

○日本の王朝（皇室）が長く続いていて、中国の王朝は短い、と太宗は言ったのですね。
本当にそうか、巻末の「世界各国・王朝の興亡一覧」で確かめてみましょう。

○＜易姓革命＞の模式図



○教科書には、「この（易姓革命の）考え方は、前王朝を滅ぼした征服者にとって都合のよいものでした」と書かれています。どうして都合がよいのですか。

○中国の天の思想と日本の天の思想はどこが違いますか。

○歴史年表で、中国の「元・明・清」などの時代区分と、日本の「平安・鎌倉・室町」などの時代区分とはどこが違うのですか。